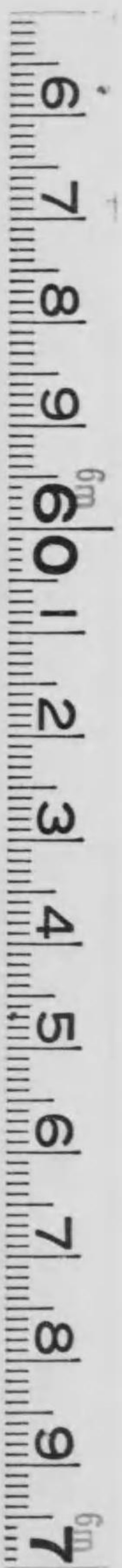


山田作等曲集

初編 三

673
348



始



山田流家元

山田作箏曲集 初編三

御琴師 重元平八藏版

電話下谷四千二百〇一番

初若菜

琴雲井調子
三絃三下り

山田作箏曲集十四卷

小松原こまつはら。末すゑのよはひにひかれてや
君きみがためとて野のの朝あさ戸と出でに。年とし
もあかなのむそひとつ。つむてふ
春はるもかきりたふも。朱雀すざくの御み賀がに
ならうたる。まんざいらくお賀が

山田流家元

山田作等曲集 初編三

御琴師 重元平八藏版

電話下谷四千二百〇一

初若菜

琴雲井調子
三絃三下り

山田作等曲集十四卷

小松原こまつはら末すゑのよはひにひかれてわ

君きみがためとて野のの朝あさ戸と出でに。年とし

もわかたよのむそひとつ。つむてふ

春はるもかきりたふき。そ朱雀すざくの御み賀がに

ならうたる。まんざいらくお賀が

2.9.5

皇恩くせうおん。ツレけしきはかりまひの神かみ。
ためしすくたもきみあそびに。
おのくこちいれたまふ。まづ
そのえての人々ひとに。びははほたる
のきやうぶもやう。ワケたれにこが
る。名なのゆかり。ワケ光ひかる君きみにはきん

のこと。ツレおとぎはれいのやまとごと。
上手うへをつくしたまへばぞ。いと
いうにぞもこゆなる。ワケその十二じふに
りつ十三じゅうさんの。ワケいとをしをとこにあひ
の手ての。六段ろくだん九段くだん人ひとめの関せき。こゆる
びやうぶのすづめがた。ツレすづめ

いろどきしのぶよさを。ワケ 君きみが手て
ごときよくにかけられて。ワケ 曲くもも雲井ぬの
すめてうに。こころのおもてうら
なくも。ワケあかしやすまのうらみ
わび。人ひとづてなまらでその中なかを。ワケわ
たせし橋はしの長枕ながまくら。ワケはやかさぎ

にいそがれて。わかれぐるまの波なみ
かへし。ツかへるなほしそでの袖そでたもと。
ありなきなかのありづめや。みだ
れ乱みだる、まごころを。しるしめ
させ玉たまはれと。浪なみのあしたのもし
ほぐさ。かいてらまじりせせらぶらかかく。千ちとせ

三
の松まつのみどりねに。かへるこよみの
女おんな文字もじ。とるなるひろく吉日きちにちわ。
猶なほ末廣すゑひろのことぶきを。つきせぬ
春はると祝いづくけり。祝いづくけり。

春日詣かすががまうで

琴雲井
三弦三下り

山田作等曲集十五卷

前弾シテ
いにしへのな奈良ならのみやこの
八重やへがすみ。かすがの野のべのさを
しかのつのもいつしかをちこちの。
ゆきゝのひとのながめぬる。
なんえんだうのふぢなふや。シテさ
琴斗ヲ二律上ケ三絃
一ヲ二律下ル(二上リ)

かりは夏なつにかかりたる。その松まつがえ
のふりもよく。ワケニ笠かさの山やまや雲井坂くもゐさか。
あめにこえゆくうば玉たまの。ワケやみ
の螢ほたるかきんすなご。さをさす舟ふね
の。佐保川さほがはに。かせもすゞしきす
ずの音ねの。琴斗琴斗ヲニツレ律下律下ゲ。ふるのやしろの神かみ

さびて。三絃一ヲニ律上ル(三下リ)けがれ心こころもさるさは
の。池いけに宿やどれる。月つきの影かげ。合合ワケむかしの
人ひとのかたみごと。見みるやうねめが
きぬかけ。柳やなぎも一葉ひとはちる秋あき
の。舟ふねをたくみ。さがにの。ツレそ
のふる。ことをおもひねの。枕まくらにひ

びくとづろきの、はし橋ふみならす
こまのあしなくやすむしくつ
わむし。シテりんまのかほも三輪みわ
のせと雲ツいとくりかへすたまづさ
や。合板屋いたやにはくくる玉たまあられ。
す急は雪ゆきともならざりし。さら

せらる。合さらせらぬの、しろたへ白妙に。
たえずたえずあゆみをとほ
こぶなる。かすがの宮みやのたふ
とさは。かくともつきじし。やま
とことのは。

花曆

琴 雲井
三絃 三下り

山田作琴曲集十六卷

前弾シテ ことぶきをを。こゝにのぶるは
と〜をへて。おなごさくら
花のいろを。そめますものは
こゝろから。ひらく日かずをいつ
むつと。ゆびをり見れば七ところ。

合シテ おもひたつ雲もひとへの上野よ
り。ながめはぐめて浅草や。
かをりはふかきおく山に。そで
ふりあうていろくの。すすがた
はゆきにすみだがは。わたし
もりにこと。げにもあづまの

みやこ鳥どり。言葉ことばのはくのあかな
くに。そきのふといひ。けふと日暮ひぐり
し。とこしなへに。こはかはらぬ
飛鳥山あすかやま。合あとりのかほよりひとむ
れを。ほ。うとほむる。うぐひす
にもとよりうたのえにしあれば。

人ひとの心こころをやはらぐる。そはるのひ
と、き。小金井こかねゐの。河かはの名なさへも玉たま
なれば。ひかりのどけき。そらに
つる。合あみぎはにかめの御殿山ごてんやまあふ
げばなほもたかきやの。めぐみも
みつるにぎはひの。たみのかずく

千代^セかけて。よろづよ^ヨの
はなごよみ。よろづよ^ヨの
はなごよみ。

江島曲

三弦 三下り

山田作等曲集十七卷

前弾^{シテ} 春^{はる}すぎいて。いまぞはじめのな

つごらも。かろきたもとがうらか
ぜに。したよどのおひてそよそよと。
ふくじゆゑんまんかざりなま。ち
かひのうみのそれならで。ひがたと
なればいとやすく。あゆみをは
こぶ江^えのしまの。急にもおよば

ぬながめかたな。シテ水は山のかげを
ふくみ。山は水のこころにまかす。
としんせんのはや。名にきこえ
たら蓬萊洞。そばだついはね
かがとして。すすめえんじんによ
のなみのこゑ。心もすめるをりか

らに。あまのこどもものうちむれて。
そなれこうたも。かひづくし。合
みがすがたを見そめてそめて。
ひくそでうひを。ふりはらふ。お
ひハあこびのかた思ひ。あだこあ
だなみ。さくら貝。梅の花がひ。

その身みはすいな。すいなすがひは
をこころとこの心こころ。ワケこちはかんひめがひ
ワヒとすぢなかんな。女かんこゝろはワケさ
うあどあやあなあわあいなあ。合あいつかあふ
せの。とこあぶあくあにあ。あふてはなれぬ。
はまあぐりあのあ。ワケその月日つきひ貝かひ。また

がひと。いふをたのみの。いもせがひ。
さうたふひとふあくあ。あひのうみ。
シあかのふかさわの。あくりありあもあ。
たへあなるてんによの。くんとくよ。た
ちまあちあ一あねんあ。ほつあきあくあてあ。たが
くちかひを。たつのくちあ。むかし

のあとをぞとぎめける。いく千
代も。ツレつきせじつきじ。このし
まの。合あいそ山やま松まつを吹ふくかぜ。合あいは
ねによするなみまでも。さたよが
ら夏か風ふう樂らく。せいがいはを奏そうすなり。
楽らくことわりなれやなに。おふ。め

うおんぼさつのしらべのいと。な
かくつたへて富ふ貴き自じ在ざい。寿じゆ命めいち
ようきうはんえいを。まもらせ
たまふ御おん神かみの。ひろきめぐみぞ
ありがたき。ひろきめぐみぞあ
りがたき。

67
348

著作
權有

大正貳年八月廿八日印刷
全 年八月三十日發行

東京市日本橋區本村木町二丁目三番地
著作及
發行兼
印刷者
重元勝善

終

